

平成24年度 決算書

町の家計簿

ダイジェスト版

「北緯45度 癒しの里」

ロマン息づく大自然の町-中頓別



目次

平成24年度決算状況	2
監査委員の決算審査意見	15
財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、	

平成25年10月

平成24年度各会計の決算額は、下記のとおりです。

一般会計では、財政の早期健全化を確実に推進していくため、「公債費負担適正化計画」を基本として地方債を必要とする普通建設事業の抑制による公債費（借金の返済）の縮減を行った結果、経常経費が前年度比3.0%の減少になりました。

収入では、人口減などにより町税が年々減少していますが財政力の弱い地方自治体を支えている地方交付税が地域経済・雇用対策費の新設などの影響により前年度比1.8%増（7,108万円増）となりました。

一方、支出では、職員数の減少などの影響により人件費が前年度比3.5%減（1,570万円減）や普通建設事業の抑制により公債費が前年度比3.0%減（2,454万円減）となりました。

また、地方交付税の増加により積立金額（貯金）が前年度比73.4%増（5億586万円増）となっています。

財政健全化法による健全化判断比率の指標の一つである実質公債費比率が15.8%と国が定めた早期健全化基準の25.0%を下回っていますが、まだまだ支出に占める公債費の割合が高い状況にあります。今後も、町民の皆様になんら新たな負担増などの迷惑をかけないよう着実に健全化に向けて取り組んでまいります。



各会計ごとの決算状況

会計の名称		会計の内容	収入	支出
一般会計		町の一般的な仕事をする会計で下記の会計を除いたものです。	38億1,353万円	37億257万円
自動車学校		教習生の授業料などを収入に普通自動車免許、大型特殊免許の教習を行っています。	2,454万円	2,420万円
国民健康保険		国民健康保険税などを収入に加入者の医療費の給付などを行っています。	3億661万円	2億7,941万円
国保病院	収益的収支	医療収益を基に町民への医療サービスを行っています。	4億6,927万円	4億5,927万円
	資本的収支		2,159万円	4,321万円
水道		水道使用料を収入に浄水場などの維持管理と町民への給水サービスを行っています。	7,817万円	7,753万円
下水道		下水道使用料を収入に終末処理場の維持管理と下水道サービスを行っています。	9,828万円	9,791万円
介護保険		介護保険料などを収入に要介護認定を受けた方に介護・支援サービスを行っています。	1億9,116万円	1億8,484万円
後期高齢者医療		老人保健制度に替わる制度で、保険料などを収入に広域連合などの負担金の支払いを行っています。なお、医療費などの給付は全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が行っています。	2,800万円	2,800万円
合 計			50億3,115万円	48億9,694万円

財政健全化法による健全化判断比率及び資金不足比率

◆財政指標（1）

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	15.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しませんでした。

※将来負担比率は将来の負担額より地方交付税で措置される額や基金（貯金）の現在高を合わせた額のほうが大きいため、比率が発生しませんでした。

実質赤字比率

福祉や教育、観光や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

◆財政指標（2）

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業	—	20.0%
水道事業	—	
下水道事業	—	

※いずれの会計も赤字がないため、比率は発生しませんでした。

資金不足比率

それぞれの公営企業会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

実質公債費比率

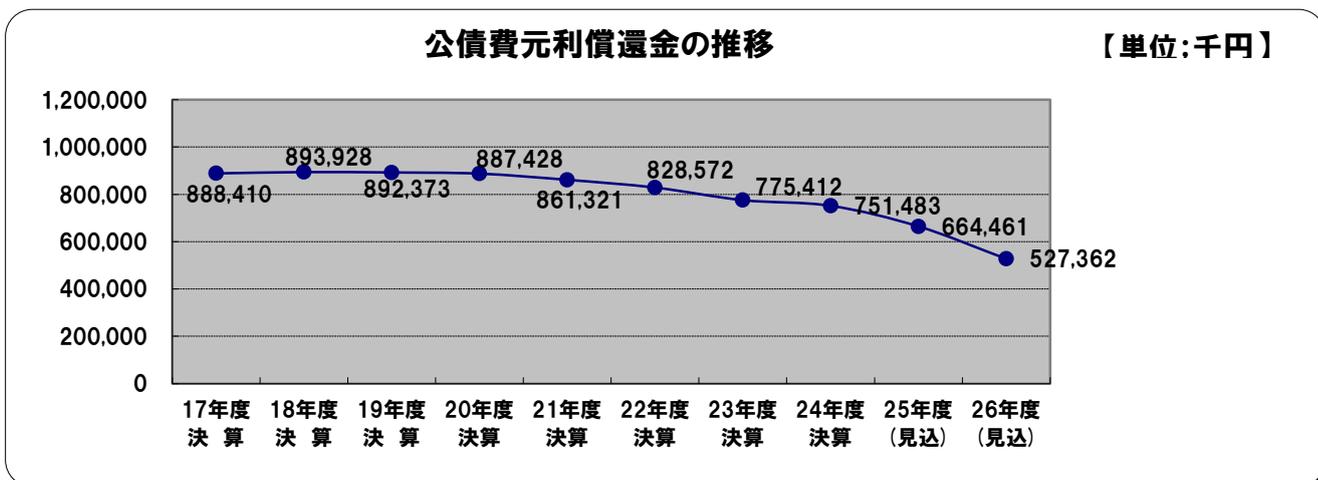
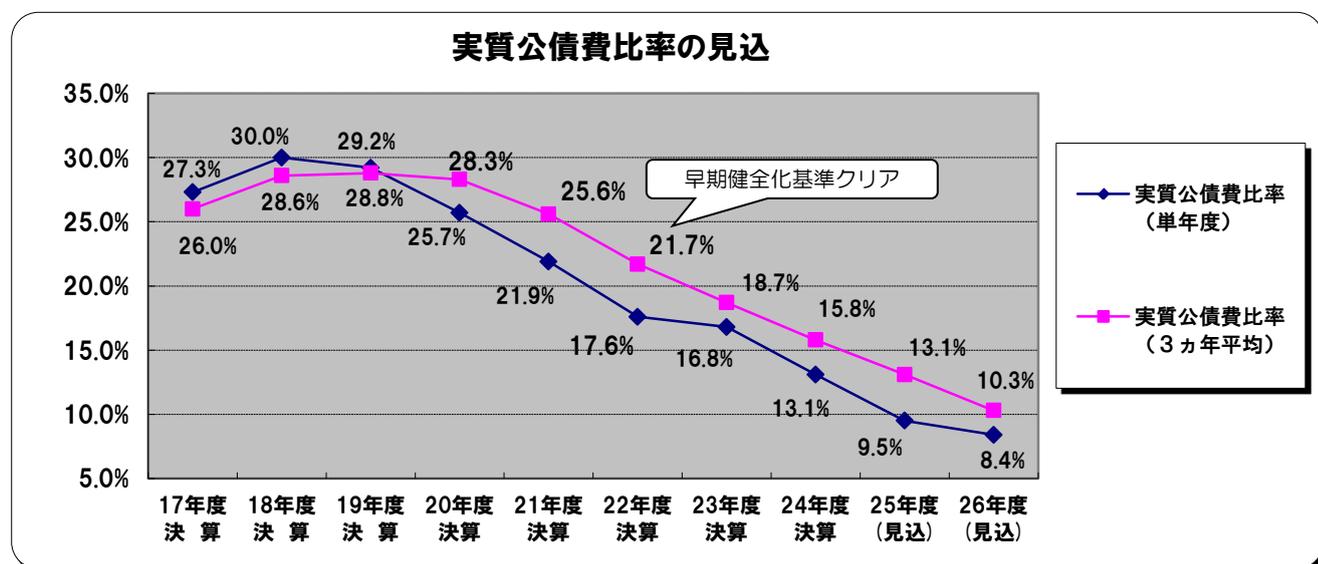
平成22年度～平成24年度の3ヵ年平均

15.8%

実質公債費比率とは、町の収入に対する町全体の借金返済額の比率を示す財政指標です。

今年度は、昨年度の実質公債費比率18.7%より2.9ポイント減少した結果、国の制約を受けない協議団体に移行となりました。財政健全化法による健全化判断比率の実質公債費比率は3ヵ年平均で算定されます。

今後も引き続き地方債借入額を最小限に抑え、公債費負担の軽減を図りながら、財政運営の健全化に努めていきます。



※ 公債費元利償還金は、決算統計のルールに従って算出した推移ですので、決算の数値とは異なります。

なかとん 中屯真 さんちの 収入

1ヵ月の収入合計 **39万円** (37万7千円) の内訳

一般会計を
1世帯あたりに例えた場合

給料 (83.9%)

32万7千円 (30万2千円)



基本給	能力(歩合)給	手 当
町税	地方交付税 地方譲与税などの国 からの交付金	国庫支出金 道支出金

預金引き出し (0.5%)

2千円 (4千円)

繰入金

パート収入 (4.1%)

1万6千円 (3万3千円)

使用料・手数料など

ローン借入れ (7.7%)

3万円 (2万7千円)

町債

前月からの繰越金 (3.8%)

1万5千円 (1万1千円)

繰越金



今年は、一時的に給料が増えたけどローンの借入も増えてしまったなー。これからも、給料が安定してないから、できるだけ借金をしないで、今後のために貯金もおろさないようにがんばらないと・・・

※ () 内は平成23年度の金額

家計簿

【1ヵ月の計算方法】(例)
平成24年度支出→37億円×1/815(世帯)

支出

1ヵ月の支出合計 37万8千円(36万3千円)の使い途



家賃・光熱水費(12.7%)

4万8千円(5万3千円)

総務費



医療・衛生費(10.1%)

3万8千円(3万8千円)

衛生費

衣料・食料費(15.9%)

6万円(8万5千円)

民生費・農林水産業費・商工費

子供の学費(5.0%)

1万9千円(2万円)

教育費

家や道路の整備代など(5.3%)

2万円(1万4千円)

土木費



その他(28.3%)

10万7千円(6万5千円)

議会費・労働費・消防費など

ローン返済(22.7%)

8万6千円(8万8千円)

公債費

今年は、将来に備えるための貯金をしたので
その他の出費が多くなったけど、医療・食糧費
で節約出来たわ。夫の給料もどうなるかわから
ないし、家も古くなってきているからこれから
も備えが必要だわ。それにまだまだローンの返
済が重くのしかかっているし、節約してがんば



特別会計への繰出金



総額 4億 599万円

(対前年比 7,946万円減りました)

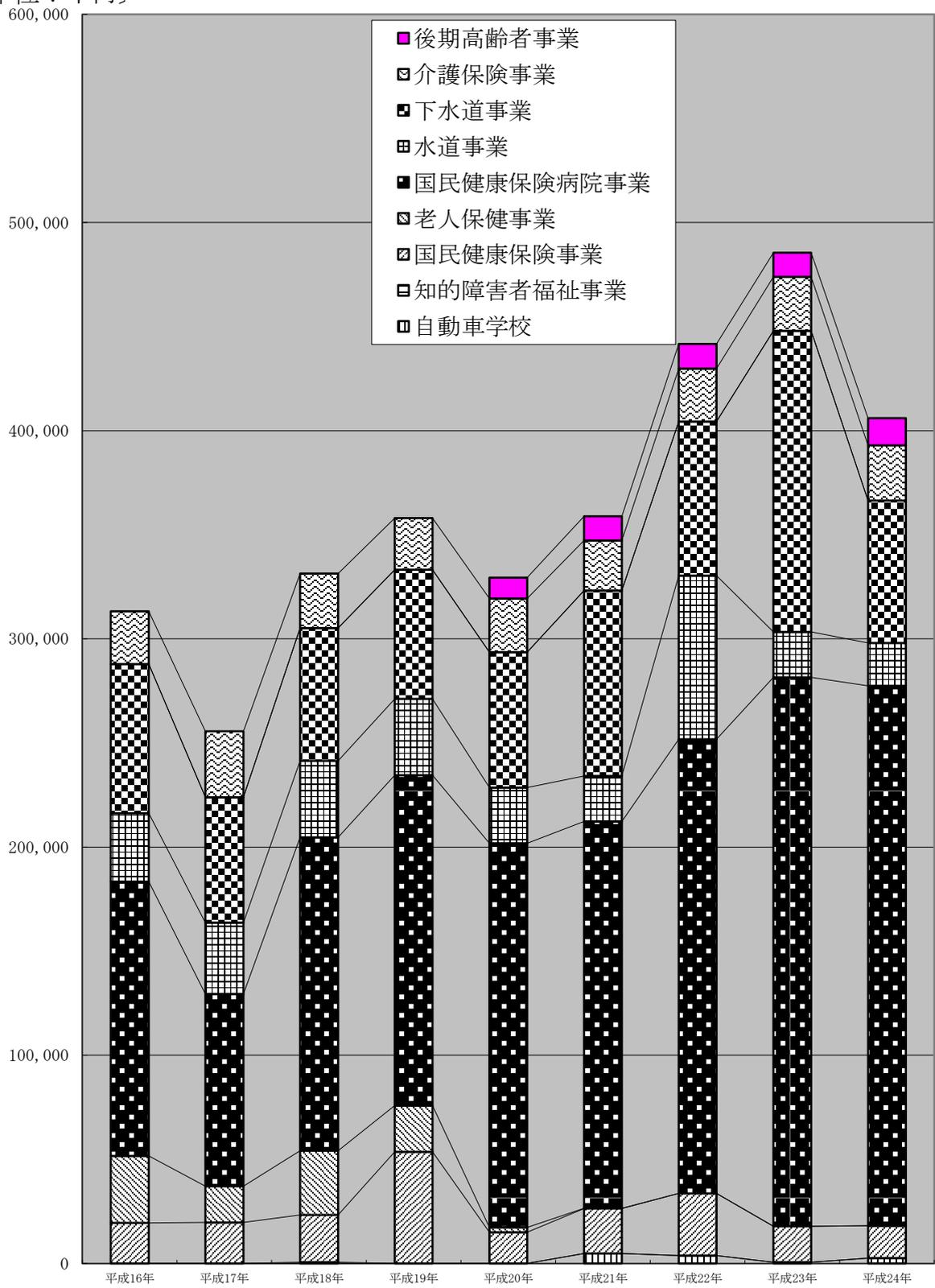
特別会計は独立採算性が基本です。お金が足りない場合は、一般会計の仕事を我慢してもらって繰り出すこととなります。つまり、市民の皆様へのサービスを一部我慢してもらうこととなります。この繰り出しが多いことは健全な財政とはいえません。ただし、特別会計繰出金の中には国の制度により繰り出すもの（ルール分）があります。このルール分は削減できませんが、それ以外の不採算運営費（赤字）に伴う繰出金の削減が、財政の健全化のための重要な課題といえます。

	平成24年度	平成23年度	増減
☆ルール分のみ繰り出しの会計			
●国民健康保険へ	1,560万円	1,723万円	▲163万円
●水道へ	2,068万円	2,194万円	▲126万円
●介護保険へ	2,651万円	2,596万円	55万円
●後期高齢者医療へ	1,311万円	1,160万円	151万円
☆不採算運営費補てんのある会計			
●自動車学校へ	249万円	60万円	189万円
うち不採算分	249万円	60万円	189万円
●国保病院へ	2億5,930万円	2億6,362万円	▲432万円
うち不採算分	1億8,863万円	1億7,520万円	1,343万円
●下水道へ	6,830万円	1億4,450万円	▲7,620万円
うち不採算分	4,273万円	5,160万円	▲887万円

(単位：千円)

事業名	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
自動車学校	—	—	—	—	—	4,700	3,760	600	2,492
知的障害者福祉	—	—	574	—	—	—	—	—	—
国民健康保険	19,438	19,648	22,679	53,607	14,970	21,641	29,904	17,231	15,600
老人保健	32,262	17,400	30,808	22,230	2,323	140	—	—	—
国保病院	131,712	92,316	150,516	158,714	184,511	185,749	218,106	263,624	259,297
水道	32,763	34,268	36,861	36,600	26,814	21,936	78,628	21,937	20,684
下水道	71,800	60,300	63,800	62,050	65,000	89,000	74,000	144,500	68,300
介護保険	25,200	31,617	26,099	24,763	25,732	24,147	25,433	25,959	26,506
後期高齢者医療					10,072	11,543	11,811	11,603	13,107
合計	313,175	255,549	331,337	357,964	329,422	358,856	441,642	485,454	405,986

[単位：千円]



平成24年度に行った主な事業

■道路

- 中頓別弥生線舗装新設工事 **3,539万円**
舗装 206m (弥生会館付近～ゴミ処理場に向かう区間)
- 6丁目線改良舗装工事 **4,067万円**
改良・舗装工事 137m (矢上さんの前～みつぐさん前までと
峰友さん～奥山さんまでの区間)
- 敏音知原野線改良舗装工事 **5,566万円**
改良・舗装工事 344m (国道～TMRセンターまでの区間)

■農業

- 青年就農給付事業 **337万円**
新規就農者(親元就農含む)は、就農後の経営の安定化に期間を要することから、経営が軌道に乗るまでの間、一定条件を満たす新規就農者に対し、国が支援を行う制度です。
平成24年では2戸の農業経営者に対して給付を行いました。

■林業

- 森林管理道弥生線開設事業 **3,442万円**
今年度は、尻無川横断付近から約400mのところから弥生牧場までの区間を開設しました。
- 森林整備加速化林業再生事業 **3,026万円**
作業道と間伐と一体的に整備することにより森林整備の効率化が促進され林業経営の安定化を図りました。
- ・林業専用道松音知2号線整備事業
林業開設 500m
 - ・林業専用道兵安4号線整備事業
林業開設 480m
 - ・林業専用道敏音知1号線整備事業
林業開設 480m



■生活

- 後期高齢者お見舞金助成事業 **631万円**
医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるよう、後期高齢者の福祉増進を図りました。
- 乳幼児等医療給付事業 **266万円**
満15歳までの子どもたちに対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児等の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図っています。

一般廃棄物処理事業

9,602万円

町内のごみ収集と埋立処分場の管理は、中頓別振興公社に全面的に委託しています。ごみ収集の対象となるのは、各家庭から排出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「リサイクルごみ」「粗大ごみ」の4種類です。

生ごみの分別収集は、南宗谷衛生施設組合が担当しています。町内で収集された燃やせるごみ、し尿、下水道汚泥などは南宗谷衛生施設組合の専用施設に運ばれ処理されています。

- ・南宗谷衛生施設組合負担金 (6,405万円)
- ・ごみ処理事業委託金 (中頓別振興公社) (2,951万円)
- ・ごみ袋購入、販売委託料 (246万円)

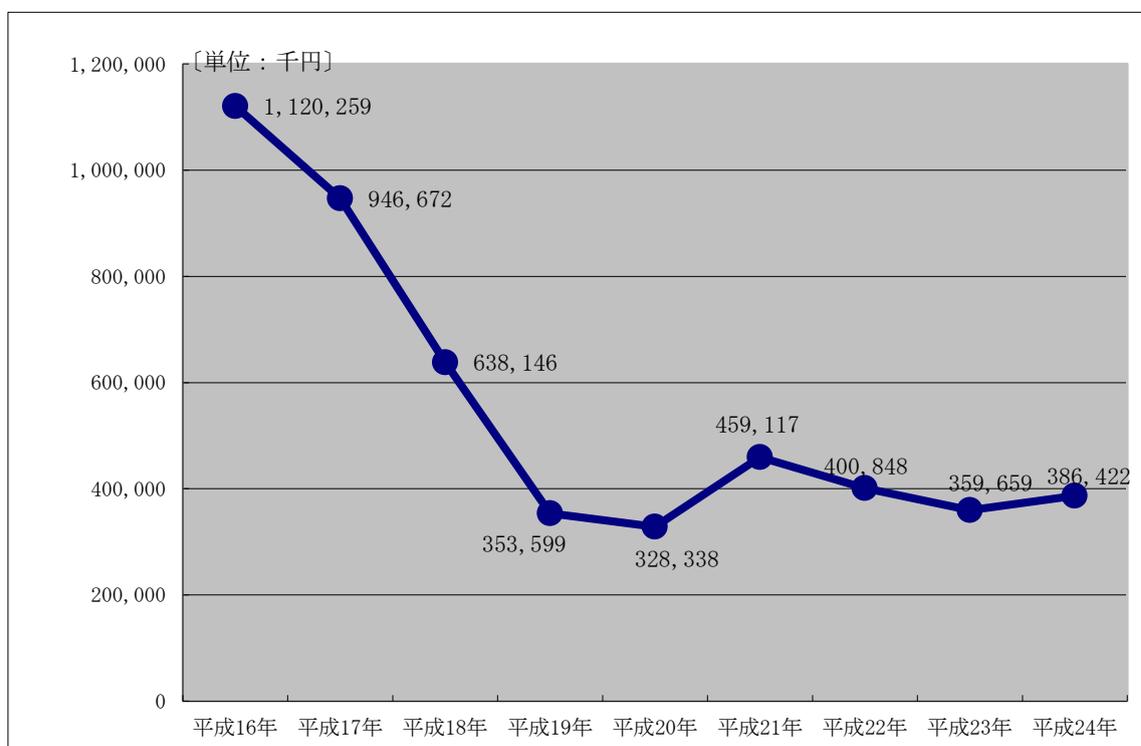
■教育

へき地教員住宅建設工事

2,428万円

教職員に安全で快適な居住の場を提供するために教職員住宅2戸を建築しました。

一般会計 公共事業費の推移



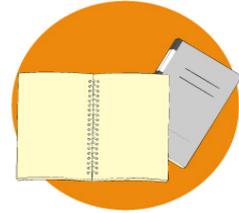
紙面等の都合により、臨時的かつ金額の大きい事業のみ掲載しました。なお、詳細の資料を希望する方は中頓別町役場総務課総務グループ財政担当までご連絡ください。また、中頓別町ホームページでの詳細資料を掲載しておりますので御利用ください。

中頓別町HPアドレス

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>



借金（一般会計）



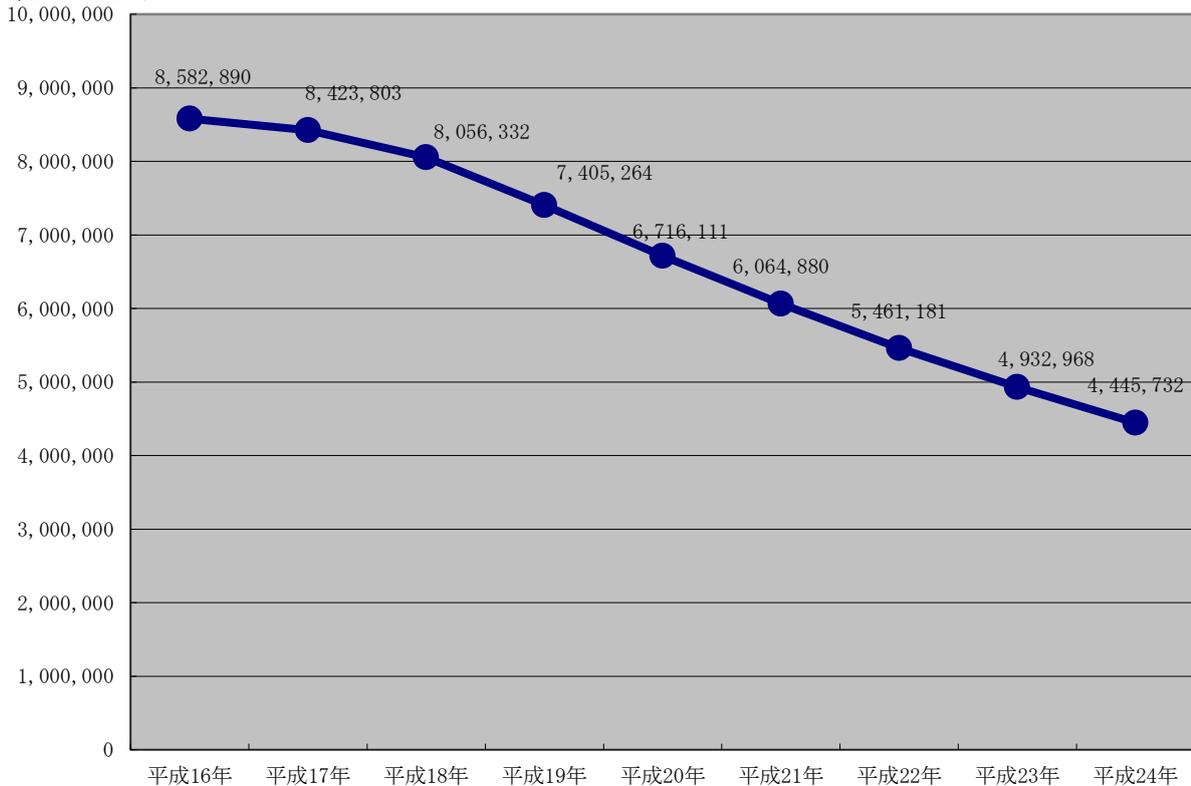
44億4,573万円

(対前年比 4億8,724万円減りました)

平成23年度末 地方債残高 + 借入高	平成24年度 高 - 返済高	平成24年度末 地方債残高
49億3,297万円	2億8,770万円	44億4,573万円

中頓別町のこれまでの借入金残高の状況(一般会計)

[単位：千円]



公共事業を抑制したことにより借入金残高が、年々減少傾向にあり効果が現れてきています。

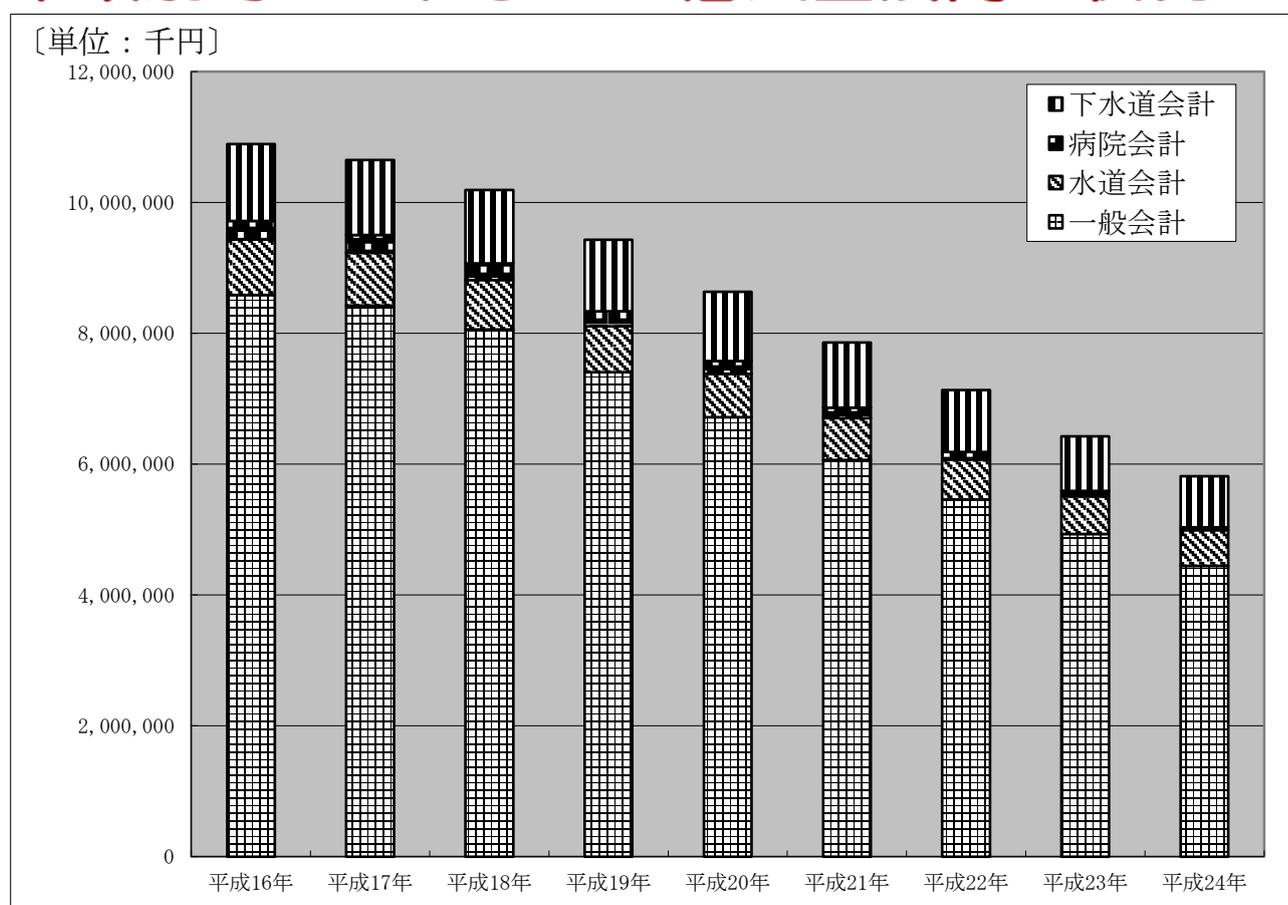
これらの借入金のうちの多くは、返済額の一定割合を地方交付税で国から交付されるしくみになっています。たとえば、もっとも借入額が大きい「過疎債」では、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされます。町は公共事業を実施する場合、こうした有利な「借金」を活用するように工夫してきました。

借金 (全会計)

58億1,657万円
(対前年比 6億595万円減りました)

	平成23年度末 地方債残高		平成24年度 借入高		平成24年度 返済高		平成24年度末 地方債残高
一般会計	49億3,297万円	+	2億8,770万円	-	7億7,494万円	=	44億4,573万円
水道会計	5億7,412万円				2,938万円		5億4,474万円
病院会計	8,153万円		60万円		4,020万円		4,193万円
下水道会計	8億3,390万円				4,973万円		7億8,417万円
計	64億2,252万円		2億8,830万円		8億9,426万円		58億1,657万円

中頓別町のこれまでの借入金残高の状況



独立採算を基本としている公営企業（水道、下水道、病院）においても事業を実施するため、起債（借金）の借入を行っており、そこに存在する借金は中頓別町が支払うべき借金総額となります。（南宗谷消防組合や南宗谷衛生施設組合などの一部事務組合に対しての負担金にかかる分は含まれておりません。）

貯金

28億 6万円
(対前年比 6億7,171万円増えました)



	平成24年度	平成23年度	増減
財政調整基金	4億2,743万円	2億2,735万円	2億 8万円
減債基金	6億2,746万円	6億1,424万円	1,322万円
長寿園施設改修拡張事業基金	2億8,615万円	1億 160万円	1億8,455万円
天北線代替輸送確保基金	3億 292万円	3億 276万円	16万円
畜産振興基金	2,714万円	2,620万円	94万円
地域振興基金	3,529万円	3,528万円	1万円
まちづくり基金	1億2,657万円	1億2,652万円	5万円
土地開発基金	1,976万円	1,604万円	372万円
地域福祉基金	1億1,433万円	1億1,430万円	3万円
中山間水と土保全基金	622万円	622万円	
農林業活性化基金	5,590万円	5,588万円	2万円
豊かな環境づくり基金	273万円	213万円	60万円
ふるさと応援寄附基金	445万円	437万円	8万円
公共施設整備等基金	5億 10万円	3億円	2億 10万円
町民に光を注ぐ事業推進基金		500万円	皆減
地域活性化基金	2億1,417万円	1億4,153万円	7,264万円
<small>未来を担うこどもの健全育成と教育の基金</small>	1,430万円	1,380万円	50万円
介護保険給付費準備基金	2,031万円	2,031万円	
水道事業特別会計基金	1,483万円	1,482万円	1万円

公共施設整備等基金は、今後見込まれる公共施設の建て替えや改修・解体に備えるために積み立てた基金です。

地域活性化基金は、地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るために積み立てた基金です。

〔コラム〕公表されている決算等の数値に相違が生じる場合があります。

この、「町の家計簿」に用いている数値、金額については、各会計での決算書の数値をもとにつくっています。

しかし、他の財政数値として公表されるもののほとんどが決算統計（地方財政状況調査）で集計された数値を使うのが一般的とされています。また、財政状況を示す数値（経常収支比率、実質公債費比率など）やこの後に掲載している、貸借対照表（バランスシート）、行政コスト計算書についても決算統計で集計された数値を使っています。

各会計決算書と決算統計で集計をする場合に根拠（集計上のルール）が異なるため、数値が異なる場合が生じますので、あらかじめご了承ください。

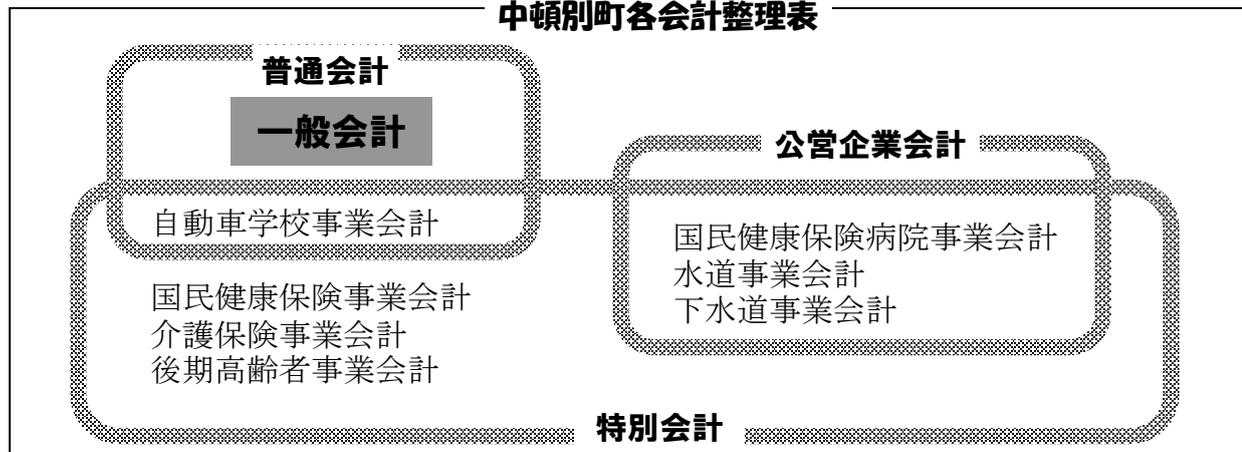
異なる内容として、一例をあげますと、現在、一般会計で、償還（借金の返済）してる起債の一部において、水道、下水道、病院に係るものが含まれています。決算統計のルールとして、そうした費用については、それぞれの公営企業決算統計にて計上することとされているため、普通会計での決算統計では除外されているからです。また、人件費についても、予算決算では総務費で議会、教育、水道等の特別会計を除く全ての人件費を支出しています。しかし、決算統計では、これらの人件費をそれぞれの目的（民生費、土木費など）に振り分けて計上しています。こうしたルール上の金額の組み換え、除外が数点あるため、決算上の数値と決算統計上の数値と異なるという現象が生じてきます。

さらに、各種数値について、一般会計、普通会計、〇〇特別会計、公営企業会計等さまざまな財務上の括りがあり、どこの数値を公表しているのか、その表題に必ず記述するようにしていますので、ご確認ください。

※各会計について、わかりやすく記述すると下記のとおりとなります。

今後、数値を公表する場合においては、決算統計の数値を載せています等の注釈を記述し、よりわかりやすい数値、資料の提供を行っていきたいと考えています。

中頓別町各会計整理表



※決算統計上の会計区分



発行：中頓別町

編集：総務課総務グループ

〒098-5595

北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6

TEL (01634) 6-1111 FAX (01634) 6-1155
